

## 農家に出向き高能力牛から受精卵を採取しています

当センターでは、能力の高い乳用牛の凍結受精卵を酪農家に譲渡するとともに、農家で飼養されている能力の高い乳用牛や肉用牛の系統牛を効率的に増産するため、バイオカウライナー<sup>※1</sup>で農家に出向き、JAや家畜保健衛生所と連携して受精卵を採取する農家採胚<sup>※2</sup>に取り組んでいます。

今年度は、乳牛凍結受精卵 20 個を譲渡し、農家採胚では乳牛 3 頭、和牛 19 頭から 139 個の正常な受精卵を採取しました。

88 個の正常な受精卵は、JAと家畜保健衛生所職員により、採胚当日に準備していた受卵牛に移植するとともに、移植できなかった正常な受精卵は後日移植できるようバイオカウライナー内で凍結保存しました。

今後も引き続き、能力の高い牛を効率的に増産できる受精卵を生産供給し、乳用牛群の能力向上や京都産和牛の増産を支援します。

※1 バイオカウライナー：農家の庭先で受精卵を処理し、凍結する機器を装備した車

※2 農家採胚：農家の優れた雌牛に排卵誘発処理を行い、多くの卵子を抱かせた状態で人工授精を行うことによりできた受精卵を取り出し、繁殖に用いること。

